



NEW COPRODUCTION

CASE 101

「子ども」がよくなる
「地域」がよくなる
「文化」がよくなる

▲親子で行ったみらい育（沖縄）



▲復興地支援・ビジネスマン対象 みらい育（仙台）

アクティビティの内容と期待できる効果（持続発展的な未来を創る幹となる資質や意識）

①準備

自分の絵本を制作するワークショップのはじまりです。植物の一生がストーリーで、次の5シーンによる構成になっています。「タネ」から始まり、「芽」「太陽（栄養）」「花」、そして「次の新しいタネ」で完結します。A5サイズ全16ページ仕様。

期待感
意欲
集中力 補色残像体験
リラックス
不安感

②制作開始

私のタネ、こんな感じ！

自分自身の内面をじっとみて、「もし自分をタネにたとえたらどんなタネだろう？」の質問に対して、過去から未来まで思いを巡らし、自分を表現するタネのイメージを見つけていきます。それを色鉛筆やカラーペンで描いていきます。自分の本質を考え、見つけ出すワークとなります。

③ 思考力
④ 創造力
想像力
判断力
アートセラピー効果

③交流

交換ノートのようなですね！

絵本は2人〜6人1組になって創ります。1シーン描き終わるごとに、同じチーム内で絵本を交換しあって、全員が全員の絵の感想を書き合います。「私もあなたも魅力的！」という気持ちが飛び交う「自己肯定感」が促される時間となります。

① 自己肯定力
② 他者肯定力
③ 思考力
④ 創造力
⑥ コミュニケーション力
自尊感情 幸福感
他者のまなざし

④次のシーンへ

②の「タネ」を描いた時と同様の方法で次のシーンである「芽」のイメージを表現します。描き終わったら、③と同様、感想を書き合います。こうして、次々新しいシーンへとワークを進め一冊の絵本を完成させていきます。各シーンで表現される絵や文章は、仲間同士はもちろん、国籍を超え、異文化交流の場においても同じものなどひとつもない多様性の共有となります。

さらなるUP!!

⑤完成

ついに絵本完成です。今の自分自身を時間、空間全方位から見つめてイメージ化した絵本が完成しました！言語をメインに自己表現したものではなく、右脳活動を中心としたビジョンワークですので、本質的な自己表現が実現した一冊となります。

⑤ 達成力
浄化作用
自尊感情 幸福感
自己効力感
世界で一冊の宝物誕生

⑥発表

ワークによって自己肯定、他者肯定された自分の絵本を全員の前で発表します。ひとつとして同じものない描写や解説は、多様性をシェアできると同時に、共通性も確認していけるため、「自分はひとりじゃない！」という孤立感からの解放も期待できます。

⑦ プレゼンテーション力
多様性共有
度胸
即興力
エンターテインメント力

みらい育ワークショップ

株式会社○○○○○○○○ × みらい育ティーチャーズ

みらい育から生まれる笑顔。心の絵本で世代を超えた交流！

神奈川県横浜市／平成26年～

協働POINT

- ①未来を担う子どもたちのために
- ②子育て支援(笑顔になれるママ・パパ・親子のために)
- ③世代間交流で新しい絆づくりと地域活性化

みらい育について

みらい育では、一人一人が自己の内面をじっとみつめることにより、絵本を作成するワークショップを行っています。絵が苦手な人も問題なく取り組める上に、年齢や性別、人種や言語をこえて交流できるもので、3つの大きな効果が期待できます。

1. 自分をいいね！と感じられる。(自己肯定)
2. 他者もいいね！と感じられる。(他者肯定)
3. 様々な考え方を知ることができる。(多様性)

他にも、様々な効果が期待できますが、特に「自己肯定感」に関しては、未来を創るエンジンとなる重要な感情であり、生きる力を育むためには不可欠です。しかし、内閣府や

東京都教育委員会、日本青年研究所の国際調査結果などを見る限り、日本人の自己肯定感の低さは諸外国と比較しても突出しています。このままでは未来を担うべき若い力が、不安で自信のない萎縮した状態に陥ってしまったり、閉塞感に苛まれ、持続可能な社会を創造していくことが難しくなります。

これまでみらい育は、2歳児から87歳のシニア世代まで、また人種や国籍を超えて、あらゆる人々を対象に行っていました。そして前述の3つの効果は期待できるものでした。

①未来を担う子どもたちのために 自己肯定感から「生きる力」を引き出す

自己肯定感とは、他者からの肯定で育っていく側面も持っています。自分は周りから必要

とされていると感じたり、転んでも後ろでちゃんと見守っていてくれる人がいると信じることができたり、一人じゃない。大丈夫！という気持ちを、絵本制作を通じて、他者との交流の中から獲得できるよう、ワークショップを開催します。



▲学童保育で行ったみらい育
ex. 株式会社○○からの教材費等資金援助とみらい育による協働。

【作品介绍】



花でいっぱいの地球環境への思いが表現されました。(小学2年生)



平和な大地に笑顔の自分は、生きる力の証です。(アフガニスタン大学生)



後に続く人のためにはしごをかけるやさしい気持ち。(日本人大学生)

②笑顔が生まれるママ・パパ・親子ワークは本来の子育ての喜びを再確認できる時間

子育てという本来持つ幸福感や喜びが、忙しい日常の中ではつとどこかに追いやられてしまいがちです。また、一番近い関係なのに、気持ちの交流が思うようにできなかつたり、イライラや不安が膨らんだりしてしまう現実の中で、心を休め、やさしい気持ちに立ち返る機会を創ります。また制作した絵本は、家族の心のアルバムとして、大切な宝物になります。



ex. 絵本づくり株)○○出版とみらい育の協働
ex. 心のアルバムづくり株)デジタルカメラとみらい育の協働

③世代を超えたコミュニケーションが地域の中に新しい絆を生み出す

同じ地域に住んでいるのに、なかなか世代を超えた交流は難しいものです。でも、ワークショップを一緒に行うことで、新しい絆や交流が生まれます。たとえば、一例にすぎませんが、今までなかった挨拶が生まれたり、思いやりの気持ちが生まれたり、時には小学生の児童が、一人で悩んでいた問題をあの時のおじいちゃんに相談しよう！と思いついたり、地域の中で自分は決して一人じゃないこと世代を超えて感じられるようなあたたかい環境が生まれます。人と人との新しい交流を生み出すことで、地域活性を促す企業とみらい育の協働の一例です。



ex. シニア世代の過去・現在・未来思考ワークショップ 株)高齢者施設運営会社とみらい育の協働
ex. 世代間マッチング株)銀行とみらい育の協働

■企業(植物の絵本:造園会社、環境関連etc. 心の絵本:教育関係、出版社、医療関係etc. 世代間マッチング:銀行関係etc. 全企業)
【住所】神奈川県
■みらい育ティーチャーズ
【住所】神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー20階
【代表】八木知美(株式会社あおむし) 【設立】2003年9月12日 【ランチ】仙台 【スタッフ】12名